

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-1	・農業分野での挑戦

	課	
主管課・係	農林課	農政係
	商工観光課	商工振興係
関係課・係	農林課	農林土木係
	農林課	林政係
	各総合支所振興課	農林建設係

### 【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①農業が盛んになり、農業のみで生活する若者が増えている。 ②地産地消が推進され、農業製品のブランド化が推進される魅力的な産業になっている。 ③農業を志す人が就農しやすい環境が整備されている。</p>																																																						
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①農業を専業とする若者の増加 ②重点振興作物の栽培面積の増加 ③農業収入の増加</p>																																																						
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 新規就農者数(累計)</td> <td>人</td> <td>65</td> <td>69</td> <td>69</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>B 認定農業者数</td> <td>人</td> <td>117</td> <td>120</td> <td>116</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>C 農業収入平均額※</td> <td>千円</td> <td>2,599</td> <td>2,650</td> <td>2,499</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>D 重点振興作物栽培面積</td> <td>ha</td> <td>61.4</td> <td>62.0</td> <td>59.6</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 新規就農者数(累計)	人	65	69	69	72	B 認定農業者数	人	117	120	116	140	C 農業収入平均額※	千円	2,599	2,650	2,499	2,700	D 重点振興作物栽培面積	ha	61.4	62.0	59.6	70.0	<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>南郷トマトで4名が就農した。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、継続して若い就農者が増えている。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>毎年、新規認定者はいるが、高齢等を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。</td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>天候不順による収量の減や、市場価格の下落等の影響があったと考えられる。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により一部農産物の価格が下落するなどの影響が出ており、今後もその影響が続くものと思われる。</td> </tr> <tr> <td>D ④ 下回った</td> <td>高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	南郷トマトで4名が就農した。	② このままで達成可能	農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、継続して若い就農者が増えている。	B ④ 下回った	新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため。	④ 達成は困難	毎年、新規認定者はいるが、高齢等を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。	C ④ 下回った	天候不順による収量の減や、市場価格の下落等の影響があったと考えられる。	④ 達成は困難	新型コロナウイルス感染症の影響により一部農産物の価格が下落するなどの影響が出ており、今後もその影響が続くものと思われる。	D ④ 下回った	高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため。	④ 達成は困難	栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																																																
	実績値	目標値		実績値	目標値																																																		
A 新規就農者数(累計)	人	65	69	69	72																																																		
B 認定農業者数	人	117	120	116	140																																																		
C 農業収入平均額※	千円	2,599	2,650	2,499	2,700																																																		
D 重点振興作物栽培面積	ha	61.4	62.0	59.6	70.0																																																		
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																				
A ③ ほぼ目標値どおり	南郷トマトで4名が就農した。	② このままで達成可能	農業次世代人材投資事業(国事業)が始まった平成24年度以降、継続して若い就農者が増えている。																																																				
B ④ 下回った	新たに認定された方もいるが、高齢等を理由に更新しない人もいるため。	④ 達成は困難	毎年、新規認定者はいるが、高齢等を理由に更新しない方の人数が増えており、目標達成は難しい状況にある。																																																				
C ④ 下回った	天候不順による収量の減や、市場価格の下落等の影響があったと考えられる。	④ 達成は困難	新型コロナウイルス感染症の影響により一部農産物の価格が下落するなどの影響が出ており、今後もその影響が続くものと思われる。																																																				
D ④ 下回った	高齢等を理由にアスパラ、花き類で栽培者が減少したため。	④ 達成は困難	栽培者数が年々減少しているため、栽培面積も減少傾向にある。																																																				
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での新規就農相談会への出展や就農相談の実施</li> <li>・新規就農者への研修及び就農後経営が安定するまでの経営支援の実施</li> <li>・重点振興作物産地拡大のための種苗や資材等の購入経費補助の実施</li> <li>・有害鳥獣による農作物被害軽減のための対策の実施</li> <li>・生産性向上のための基盤整備事業等の実施</li> </ul>																																																						
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか?</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Iターンの新規就農者の受入が毎年続いている。</li> <li>・南郷トマト、会津田島アスパラは地域団体商標の登録を受けるなど、知名度は上昇・定着している。</li> <li>・重点振興作物産地拡大のための種苗や資材等の購入経費補助を実施しているが、高齢等を理由に離農者が多く、栽培面積は減少している。</li> </ul>																																																						

### 【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか?</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等からのIターン者が夫婦で就農されるケースが増えている。</li> <li>・南郷トマトは市場の評価、消費者の認知度がさらに高まり、生産者が自信と誇りを持って生産活動にあたっている。</li> <li>・新規就農者が国、町の補助制度を活用し、安心して研修を受けたり、就農を開始することができている。</li> </ul>
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何ですか?</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Iターンの新規就農者は南郷トマト栽培者がほとんどで、他の作目での新規就農者は現れていない。</li> <li>・高収益の重点振興作物の栽培者・栽培面積が減少しており、町全体の農業所得向上につながっていない。</li> <li>・有害鳥獣による農作物被害が増加している。</li> <li>・一部地域では場が狭小等により耕作条件が不利となっている。</li> </ul>

### 【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は?</p>	<p>新規就農者の確保とあわせ、定年帰農や高収益作物への作付け転換者の掘り起こしにより、重点振興作物の栽培者・栽培面積の増加を目指すとともに、農業生産の基盤整備整備と農地の集約化、有害鳥獣被害対策等による農業所得向上を目指す。</p>												
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか? また具体的な対応・対策をどうしますか?</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:50%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。</td> <td>他品目の栽培農家の実態調査の実施 県やJAと協力し検討会議を実施</td> </tr> <tr> <td>各種助成制度の周知徹底</td> <td>ホームページへの掲載 地元高齢者にもわかりやすい資料作成と座談会等の実施</td> </tr> <tr> <td>農地の集積・集約化</td> <td>地域での話し合いによる担い手への農地の集積・集約化を推進</td> </tr> <tr> <td>有害鳥獣被害対策</td> <td>電気柵等の補助及び有害鳥獣捕獲の強化</td> </tr> <tr> <td>ほ場整備の推進</td> <td>水田の大区画化や汎用化等の整備を実施</td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。	他品目の栽培農家の実態調査の実施 県やJAと協力し検討会議を実施	各種助成制度の周知徹底	ホームページへの掲載 地元高齢者にもわかりやすい資料作成と座談会等の実施	農地の集積・集約化	地域での話し合いによる担い手への農地の集積・集約化を推進	有害鳥獣被害対策	電気柵等の補助及び有害鳥獣捕獲の強化	ほ場整備の推進	水田の大区画化や汎用化等の整備を実施
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策												
南郷トマト以外の作物を栽培する新規就農者が増えない原因を探る。	他品目の栽培農家の実態調査の実施 県やJAと協力し検討会議を実施												
各種助成制度の周知徹底	ホームページへの掲載 地元高齢者にもわかりやすい資料作成と座談会等の実施												
農地の集積・集約化	地域での話し合いによる担い手への農地の集積・集約化を推進												
有害鳥獣被害対策	電気柵等の補助及び有害鳥獣捕獲の強化												
ほ場整備の推進	水田の大区画化や汎用化等の整備を実施												

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	経営所得安定対策等推進事業【事業名変更】	農林課	目的	経営所得安定対策の推進及び加入促進を図る。				
			概要	国事業であり、経営所得安定対策の推進に必要な事務費及び人件費に要する経費を交付				
			成果	経営所得安定対策交付金の申請受付、確認事務等を遂行し、対象者へ確実な交付金の交付により農業経営の安定が図られている。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	4,214	65	5,434	0	-
02	種苗等支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するため、栽培面積の拡大を図る。 新植:2/3上限100万円 改植:1/3上限50万円				
			概要	町の重点振興作物の産地づくりを推進するため、新植及び改植を行う意欲のある農家等に対して、苗等の購入経費を補助。				
			成果	実施主体6件に合計9,969千円を補助し、重点振興作物の産地維持が図られた。				
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少している。				
			対策	新たな生産者の掘り起こし。				
			事業費	9,969	9,969	8,812	8,812	-
03	農業用資材支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するとともに、品質・生産性の向上を図る。				
			概要	町の重点振興作物栽培に係るハウス被覆用ビニールの購入経費を補助				
			成果	実施主体6件に合計1,168千円を補助し、重点振興作物の産地維持が図られた。				
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少している。				
			対策	新たな生産者の掘り起こし。				
			事業費	1,168	1,168	2,828	2,828	-
04	重点振興作物栽培支援事業	農林課	目的	重点振興作物の栽培振興を図る。				
			概要	新たに重点振興作物を10a以上栽培する農家に対して、栽培初年度の経営に要する関係機械・資材の購入経費を助成				
			成果	令和元年度は要望がなかった。(新規就農者の場合は、新規就農者支援事業と同様の支援を実施)				
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少している。				
			対策	新たな生産者の掘り起こし。				
			事業費	0	0	0	0	-
05	実り豊かなふくしまの産地支援事業【事業名変更】	農林課	目的	園芸作物の生産拡大支援に係る資材の購入経費を補助。				
			概要	県が採択した事業に対し、町が上乘せして補助。(補助率 県町併せて7/10以内)				
			成果	実施主体3件に合計5,570千円を補助し、園芸作物の生産拡大につながった。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	5,570	2,846	3,476	1,646	-
06	中山間地域等直接支払交付金	農林課	目的	国土の保全、水源かん涵養や保健休養など多面的機能の維持、耕作放棄地発生防止を図る。				
			概要	傾斜等により農業生産条件の不利益地域の国土の保全、多面的機能の確保、耕作放棄地発生防止などに取組む地区に対し交付金を支給。				
			成果	19件の協定集落に対し交付金を支給し、耕作放棄地の発生を防止することができた。				
		農政係	問題	集落の高齢化が進み、活動ができないとして取り組みを辞める協定が出てきた。				
			対策	地域での話し合い・負担のかからない体制づくり。				
			事業費	21,523	5,381	23,707	5,927	-
07	新規就農者支援事業	農林課	目的	就農意欲を喚起するため、研修期間中における支援と就農後の定着を図る。				
			概要	国事業の要件を満たさない就農希望者で、重点振興作物を約20a以上栽培する農家に対して、研修業務補助金・初度経営支援補助金を支給。				
			成果	研修業務2人2,154千円、初度経営支援2人1,400千円、種苗等支援2人240千円、重点振興作物栽培支援2人1,835千円を補助し、新規就農者が就農後すぐに安定経営を始めることができた。				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	5,629	5,629	3,459	3,459	-
08	農業次世代人材投資事業【事業名変更】	農林課	目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため。				
			概要	平成27年4月以降に新規就農した農業者(独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満)に対して、農業次世代人材投資資金(国事業)を給付。				
			成果	農業次世代人材投資資金(経営支援型)を給付し、新規就農者の経営の安定が図られ定着につながっている。(単独経営8名、夫婦共同経営11組22名)				
		農政係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	32,696	32,696	24,000	24,000	-

09	多面的機能支払交付金	農林課	目的	地域ぐるみで農業用施設(排水路、農道、頭首工、ため池等)の保全管理を行い、施設の長寿命化を図る。					
			概要	農用地、水路、農道等の適切な管理及び農村環境保全活動に取り組む。					
			成果	地区での組織化と農地、農業用施設の保全及び農村環境の保全が図られた。田島14組織、館岩1組織、伊南5組織、南郷6組織 計26組織で実施					
		農林土木係	問題	本事業に取り組めない地区への支援の仕方。					
			対策	単独で取り組めない地区は、隣接地区への共同取組み等を検討する。					
事業費	50,019	15,392	45,426	11,211	-	-			
10	県営事業負担金(農地整備)	農林課	目的	農業生産基盤及び環境基盤の整備を通じて、中山間地域の立地条件を活かした農業と活力ある農村づくりの促進を図る。					
			概要	県営中山間地域総合整備事業(西部地区)及び県営ほ場整備事業(田部地区)に対する町負担金を支出し事業を展開。					
			成果	農家の労働力や維持管理の負担を軽減し、農村環境の改善による定住促進、将来的な農村の保全が図られた。					
		農林土木係	問題	未整備箇所の対応。					
			対策	他事業による整備。					
事業費	33,750	1,361	46,250	6,200	-	-			
11	農地耕作条件改善事業	農林課	目的	食料自給率の向上、農地集積を加速し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境整備を図る。					
			概要	整備が必要な水路及び農道の新設、修繕工事を実施する。					
			成果	農業競争力が強化され、生産効率の向上が図られる。					
		農林土木係	問題	未整備地区の対応。					
			対策	他事業による整備。					
事業費	39,172	1,177	62,308	302	-	-			
12	集落維持発展事業	農林課	目的	地域住民が自主的かつ共同で取り組む水路・農地等の農地農業用施設の維持修繕に対する支援を図る。					
			概要	水路土砂上げを1集落(横町地区)及び取水施設の修繕を2集落(藤生地区・黒沢地区)で実施した。					
			成果	農地等が保全され、農業経営における維持管理労力が軽減されたことから、集落の維持発展の支援が図られた。					
		農林土木係	問題	単独事業であり、財政負担が大きいことと、基金を財源としているため、事業の終期が間近なこと。					
			対策	多面的機能支払交付金事業への取組み支援。					
事業費	355	355	2,000	2,000	-	-			
13	有害鳥獣被害対策事業	農林課	目的	耕作者等が行う被害防止対策への支援及び有害鳥獣実施隊による鳥獣の捕獲やパトロールを行い、農作物等の被害軽減を図る。					
			概要	耕作者及び地区で取り組む対策費用への支援。「ニホンザル・イノシシ・ニホンジカ」を指定し、報奨金制度を設け捕獲強化を図る。					
			成果	鳥獣による農作物被害防止対策の普及や効果的な有害捕獲が図られた。					
		林政係	問題	鳥獣の生息エリア、被害エリアの拡大により耕作者個人の被害防除対策では対応が追い付かない。					
			対策	集落ぐるみの耕作エリア防除と有害鳥獣個体数調整、生息環境整備を組合わせて対策していく。					
事業費	20,471	18,998	44,289	21,409	-	-			
14	機構集積協力金交付事業	農林課	目的	農地の有効利用や農業経営の効率化を図る担い手に対し、農地利用の集積・集約化を進める。					
			概要	農地中間管理機構の制度を活用した賃貸借契約を締結することにより、機構集積協力金を交付(予算は12月補正で対応)					
			成果	農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を実現することができた。					
		農政係	問題	担い手がないなどの理由により当事業が活用できない地区がある。					
			対策	人・農地プランの作成と合わせた地域の話し合いの実施。					
事業費	4,753	0	0	0	-	-			
15			目的						
			概要						
			成果						
			問題						
			対策						
事業費									
16			目的						
			概要						
			成果						
			問題						
			対策						
事業費									
事業費(一般財源)の合計(千円)			229,289	95,037	271,989	87,794	-	-	